

年間授業計画

飛鳥 高等学校 令和5年度(2年次用) 教科 公民 科目 公共

教科: 公民 科目: 公共

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2年次 1組～ 6組

教科担当者: (1組:) (2組:) (3組:) (4組:) (5組:) (6組:)

使用教科書: (高等学校 公共 清水書院)

教科 公民 の目標:

【知識及び技能】現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。

【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 公共 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	・国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解する。 ・伝統や文化、宗教などを背景にして現代社会が成り立っていることを理解する。 ・古代から近代の日本の思想家の思想内容を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己形成の課題について考察する。 ・先哲の思想や伝統、文化、宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付く。 ・自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり、様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れる力を養う。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できる。 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究できる。 ・自主的に公共的な空間を作り出し、この空間で自立した主体であるという自覚した行動をとる力を養う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 私たちの人生と社会 2 青年期の心理と課題 3 哲学の始源と発展 4 一神教の教え 5 東洋の宗教と思想 (1) 6 東洋の宗教と思想 (2) 7 日本の風土と神仏への信仰 8 江戸時代の学問と近代化への歩み <p>※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 ・伝統や文化、宗教などを背景にして現代社会が成り立っていることが理解している。 ・古代から近代の日本の思想家の思想内容が理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己形成の課題について考察できている。 ・先哲の思想や伝統、文化、宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。 ・自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり、様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究できている。 ・自主的に公共的な空間を作り出し、この空間で自立した主体であるという自覚した行動をとることができている。 	○	○	○	11
<p>・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 近代的人間像の誕生 (1) 2 近代的人間像の誕生 (2) 3 科学的な思考 4 国家社会と人間性 (1) 5 国家社会と人間性 (2) 6 公共性の復権と他者についての思考 7 公正な社会と個人 8 現代の政治思想 <p>※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 ・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得、現代の諸課題を主体的に追究できている。 	○	○	○	11
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 ・日本国憲法の基本原則や保障されている権利を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 近代国家と立憲主義 2 日本国憲法の成立 3 日本国憲法の三原理と人権保障 4 平和主義と国際社会 5 平等権 6 自由権 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 ・日本国憲法の基本原則や保障されている権利が理解できている。 				

2 学 期	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察する。 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深める。 日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつける。 	<p>7 仕会権 8 参政権の保障と国務請求権 9 新しい人権</p> <p>※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。 日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができている。 	○	○	○	14
	<p>・民主社会の成立過程、現代社会の民主政治の仕組みと世界の政治制度について理解させる。</p> <p>・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、主権者（有権者）として社会に関わる意識を高めさせる。</p> <p>・国民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>・司法制度の仕組みと課題を理解させ、よりよい司法の実現のために、国民が司法に参加する意義を考察させる。</p> <p>・地方自治の仕組みを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させる。</p>	<p>1 自由民主主義の成立と危機 2 現代の民主主義と課題 世界の政治制度 3 世論の形成と民主社会 情報モラルについて 4 政治参加と主権者（有権者） 5 選挙と政党 6 国会の役割としくみ 7 内閣と行政機関 8 裁判所の役割としくみ 9 市民生活と司法参加 10 地方自治と住民の生活</p> <p>※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 法や規範の意義や役割が理解できている。 公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の買い物や銀行のクレジットカードなど、身近な契約の例を挙げることができる。 裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。 模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえて積極的に参画する自覚を持つことができている。 	○	○	○	14
3 学 期	<p>・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。</p> <p>・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察する。</p> <p>・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。</p> <p>・平和主義と国際協調の立場から、日本の安全保障や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>1 国際政治の成り立ち 2 国際連合の設立とその役割 国際連合の主要機関と課題 3 冷戦とその終焉 4 軍縮と安全保障 5 リージョナリズム 6 グローバル化と国家 7 現代の紛争 8 多文化・多民族社会に向けて 9 移民と難民 10 日本の戦後外交と課題</p> <p>※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。 冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。 核軍拡から核軍縮への流れが理解できている。 現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 自分が理想とする選挙制度を選択することができる。 集団の安全保障がなぜ有効なのか考察できている。 国連の現状と課題について考察できている。 国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。できている。 日々報道される世界の国際紛争に関心を持っている。 民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持っている。 	○	○	○	10
	<p>・私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を</p>	<p>1 私たちと経済 消費者の権利と責任 2 仕事と社会 3 国民経済とGDP</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の企業の果たしている役割が理解できている。 中小企業や農業の果たしている役割と現状 				

<p>身につけさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の機能、金融や財政の仕組みについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。 ・現代の企業の仕組みと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。 ・日本経済の歩みを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。 	<p>4 社会のしくみとしての市場 5 市場の機能 6 市場の限界 7 金融とそのはたらき 8 財政とそのはたらき 9 現代の企業 10 労働問題 11 社会保障の役割 12 少子高齢化と財政の維持可能</p> <p>※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。</p>	<p>を理解できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解できている。 ・市場経済のメカニズムが理解できている。 ・金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・政府が経済に果たしている役割を理解できている。 ・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の企業倫理について考察できている。 ・経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。 ・GDP が大きいことが豊かさにつながるかどうか、豊かさについて自分なりに判断できている。 ・自身の老後生活を予想し、租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的な消費行動がとれている。 ・超低金利時代に生きる一員として、今後の経済設計がきちんとたてられている。 ・日本の経済について課題を発見し、解決する見通しが持てている 	○	○	○	<p>10</p> <hr/> <p>合計</p> <hr/> <p>70</p>
--	---	--	---	---	---	---